

(臨床研究に関するお知らせ)

心臓リハビリテーションで入院歴のある患者さんおよびご家族の方へ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会で承認され、院長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

急性期病院における集団心臓リハビリテーション導入が生産性と臨床アウトカムに与える影響：前後比較研究

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 科長 上原 光司

3. 研究の目的と意義

本研究は、急性期病院における心臓リハビリテーションの個別実施から集団実施への移行が、医療価値に与える影響を明らかにすることを目的とします。療法士の投入資源・労力が増加していない条件下で、臨床アウトカムが維持・改善されるか、また提供量・提供効率がどのように変化するかを定量的に評価します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当院において、対象期間中（2024年4月～2026年3月）に心大血管疾患リハビリテーション料を算定し、理学療法士による心リハの提供を受けた入院患者さん

(2) 研究期間

院長による研究実施許可日～2028年3月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、心不全重症度の指標（NT-pro BNP、NYHA 心機能分類、左室駆出率）、在院日数、退院先（自宅復帰率）、当院への再入院率（退院後30日・90日以内）、患者1人あたり単位数、総単位数、延べ実施回数、実施形態（個別／集団）の区分に関する情報です。

(5) 方法

各指標について、平均・標準偏差・中央値・四分位範囲・頻度等を算出し、月次推移を可視化する。

5. 試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんおよびご家族（代理人）の方には、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 試料・情報の二次利用について

二次利用しません。

9. 資金源及び利益相反等について

資金源及び開示すべき利益相反はありません。

10. 問い合わせ先

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科

担当者：上原 光司

住所：大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

TEL：072-681-3801 FAX：072-682-3834

E-mail：uehara.kouji@aijinkai-group.com